

2022年2月21日

当院で心臓移植待機をされた患者さん・ご家族へ

研究への御協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、これまでの治療のカルテ情報から得られた研究データをまとめ、今後の診療に役立てるものです。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】

1997年10月15日から2030年1月1日までの期間に心臓移植登録後、当院で診療歴がある方

【研究課題名】

心臓移植登録患者の予後及び合併症の検討

【研究責任者】

国立循環器病研究センター 移植医療部 塚本泰正

【研究の目的】

本研究の目的は、上記期間中に心臓移植登録をされた心臓病をもつ患者さんの診療情報を集計・分析することで、予後や合併症に関連する因子を明らかにするとともに、医療の質の向上に役立て、患者さんに最善の医療を提供することを目指すことです。

【利用する診療情報】

診断名、年齢、性別、身長、体重、血圧・心拍数などのバイタルサイン、基礎疾患、既往歴、家族歴、血液・尿検査所見、心電図所見、レントゲン/CT/MRI/核医学検査所見、心臓超音波検査、心カテーテル検査、内服薬、運動耐容能、骨格筋量、手術内容(手術時間や病理結果など)、術後経過(手術後に起きたすべてのイベント(死亡、心臓再手術、脳出血・梗塞など)を含みます)、術前や術後に実施されたアンケート調査、心臓移植をお受けになった患者さんについては移植後合併症(拒絶反応、感染症、不整脈、腎機能障害、移植心冠動脈病変、悪性腫瘍)

【研究期間】

倫理委員会承認日より2030年12月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

この研究で得られた情報を将来、二次利用する可能性や研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。二次利用する際に文書を公開する場合は、国立循環器病研究センター 公式サイト(<http://www.ncvc.go.jp>)の「実施中の臨床研究」のページに掲載いたします。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 移植医療部 研究分担医師 渡邊琢也
大阪府吹田市岸部新町6番1号, TEL:06-6170-1070（代表）